

報告第 5 号

令和 8 年度一般財団法人宇治市文化財愛護協会事業計画並び
に予算の報告について

地方自治法第 2 4 3 条の 3 第 2 項の規定に基づき、令和 8 年度一
般財団法人宇治市文化財愛護協会事業計画並びに予算について、別
紙のとおり報告する。

令和 8 年 6 月 1 6 日提出

宇治市長 松 村 淳 子

令和8年4月10日

宇治市長 松村淳子様

一般財団法人宇治市文化財愛護協
理事長 吉水利



令和8年度一般財団法人宇治市文化財愛護協会
事業計画並びに収支予算の提出について

上記のことについて、一般財団法人宇治市文化財愛護協会の3月25日理事
事会において別添のとおり承認されましたので報告いたします。

議案第1号

令和8年度事業計画及び収支予算について

令和8年度事業計画及び収支予算について、承認を求める。

令和8年3月25日提出・可決

一般財団法人宇治市文化財愛護協会
理事長 吉水利明

提案理由

定款第7条第1項に基づき、令和8年度の事業計画及び収支予算について、理事会の承認を得るものです。

令和8年度事業計画

一般財団法人 宇治市文化財愛護協会

I 令和8年度事業計画の概要

一般財団法人宇治市文化財愛護協会では、令和8年度事業として、定款に定める法人の目的である「宇治市の歴史的風土・自然環境の保護育成のため、ひろく文化財愛護、及び生活環境の保全に努め、もって市民の文化の向上に寄与すること」を達成するため、

① 文化財の調査・研究・刊行及び保存管理に関する事業 ②自然環境の調査・研究及び保全に関する事業 ③文化教養の向上に関する事業 ④文化財愛護の普及に関する事業を、四つの主要な柱に据え、次に掲げる事業を実施する。

- 1 宇治市内で伝承される祭事の見学と講義
- 2 宇治市内の史跡、古跡、道標等の保全活動
- 3 各地の文化財や自然を訪ね、その保存・保全の重要性と今後の方向性を学ぶ
- 4 伝統芸能の鑑賞
- 5 宇治市内の各種団体により実施される文化財保護や自然環境の保全に関する事業への協力、参加
- 6 広報紙、機関誌等の発行

※ すべての事業について、会員をはじめ、広く市民に周知を図るとともに、参加を働きかけ、多くの人に文化財保護活動の大切さを認識してもらえよう、事業の推進を図ることとする。

II 令和8年度事業計画

1 文化財の調査・研究・刊行及び保存管理に関する事業

① 【大幣神事見学会】

日 時 令和8年6月8日（月）10：00～12：00

内 容 旧宇治郷の祭り。大幣殿の祝詞奏上に始まり、縣通り、新町通り、本町通りの三つの通りを中心に行われる行事。縣神社内の町内集会所にて行事のあらましを聞いた後、行列に随行し、講師の解説を聞きながら行事を見学する。大幣を中心に行列が生まれ、旧宇治郷を歩き厄を集めた大幣は神社に戻ると直ちに壊され、宇治川に投げ捨てられる。また、一ノ坂では馳馬神人が馬馳せを行うなど、今日では見られなくなった見ごたえのある民俗行事である。この祭りは、宇治市の無形民俗文化財に指定されており、見学することにより学習を深める。

② 【サテキャンからはじまる宇治の碑めぐり～あっち、こっち、どっち？】

日 時 パネル展示 令和8年11月10日（火）～11月29日（日）（予定）

内 容 京都文教大学と本会が提携し、文化財愛護の精神を育む事業を展開する。本会が発行する「新宇治の碑」をもとに、宇治市内に点在する石碑や道標等を紹介するパネル展示を行う。令和8年度は、大久保・伊勢田の碑のパネルを展示する。

場 所 京都文教大学サテライトキャンパス（宇治橋通り）

③ 【第81回歴史・文化財散歩】

日 時 令和8年5月22日（金）

内 容 本会が発行する「宇治の散歩道」を活用して、市内の歴史散策を行い、宇治の豊かな歴史や文化財を学ぶ。

今年は、五ヶ庄北西部の歴史・文化財を学ぶ。

場 所 西導寺、許波多神社、火薬製造所跡等

④ 【第82回歴史・文化財散歩】

日 時 令和8年11月6日（金）（予定）

内 容 興聖寺を開創した永井尚政の弟直清は、高槻城の城主であった。宇治と繋がりのある高槻市の史跡を見学し、歴史を学ぶ。

場 所 芥川宿跡、安満遺跡、高槻城跡等

⑤ 【川下園の碑移設】

宇治七名園のうち川下園の碑が個人地にあり、これを近くの公園内に移設し、碑の保存を図る。合わせて、駒札を設置し川下園の顕彰を図る。

⑥ 【朝日園の駒札設置】

宇治七名園の朝日園の碑が建つ場所は民地で、そこには入れない。そこで、七名園の朝日園を顕彰するため、隣地の山田緑地の公園内に朝日園の駒札を設置する。

将来的に宇治市が土地所有者と協議を行い、協議が整えば碑を移設する。

⑦ 【宇治七名園巡り】

日 時 令和8年6月（予定）

室町時代から存する宇治茶の七名園について、碑を巡る見学会を開催し、七名園をはじめ宇治茶の歴史を学び、現地学習を通して宇治茶について学習を深める。

2 自然環境の調査・研究及び保全に関する事業

① 【自然観察会～談山神社を訪ねて】

日 時 令和8年11月（予定）

内 容 紅葉が有名な談山神社を訪ねて自然を感じ、観察する。

② 【クリーン宇治運動】

日 時 令和8年11月 9:00～10:00（予定）

令和9年 3月 9:00～10:00（予定）

内 容 自然豊かで、二つの世界遺産がある宇治を、観光客が増える秋や春のシーズンを前に、宇治の各種団体で組織する「クリーン宇治運動推進協議会」に本会も参画し、清掃活動を行う。

場 所 本会は、宇治川塔の島、中の島周辺を担当する。

③ 【視察研修 松阪市の史跡を訪ねて】

日 時 令和8年9月25日（金）（予定）

内 容 伊勢神宮の宿場町として栄えた三重県松阪は、江戸時代紀州藩の城下町であった。松阪城跡などの史跡を見学し、松阪の歴史を研修する。

場 所 松阪城跡、本居宣長記念館、城下町散策等

3 文化教養の向上に関する事業

① 【第36回小・中学生文化財見学会】

日 時 令和8年11月頃（予定）

内 容 小・中学生と保護者を対象に、宇治市の歴史や市内に残されている文化財について学んでもらう場として実施する。

この見学会では、参加者から感想文を募り選考のうえ、宇治市教育長賞、宇治市文化財愛護協会理事長賞を贈呈する。

なお、この事業は、宇治市及び宇治市教育委員会との共催事業として実施する。

場 所 平等院（予定）

② 【源氏物語ミュージアムと共催事業】

例年通り源氏物語ミュージアムとの共催事業に取り組む。

古典芸能に接する機会を作り、文化創造と生涯学習に関する体験型教室を令和元年度より実施している。

内 容 詳細は未定。古典芸能、文学等を題材に今後調整。

③ 【源氏ろまん事業への協力】

宇治市が実施している「源氏ろまん事業」は、「源氏物語の世界を伝える」ことなど、市民及び観光客に宇治の歴史・文化等の魅力を発信する「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の一環として取り組まれている。源氏ろまん事業では様々な事業に取り組まれているが、その中の「宇治田楽まつり」を後援し取組に協力する。

4 文化財愛護の普及に関する事業

① 【「会報」発行】

発行日 112号⇒令和8年6月

113号⇒令和8年10月または11月

内 容 本会の活動内容や会員の作品等を掲載し、会員及び関係機関に送付するとともに、公共施設にも配布して本会活動への理解と協力を求め、事業参加を呼びかける。

② 【「文愛協だより」発行】

発行日 4月、8月、1月の年3回発行

内 容 本会の活動内容（事業予定、事業報告等）を主な内容とし、会員に配布するとともに、公民館等の公共施設に配架し、広く市民に活動内容等の周知を図り、事業への参加を呼びかける。

③ 【文化財防火研究会への参加】

毎年1月26日の「文化財防火デー」に伴い、文化財関係者が一堂に会し、文化財を火災など災害から護り、より一層の文化財愛護思想の普及を図ることを目的に行われる「文化財防火研究会」に参加する。

内 容 消防訓練（文化財・消防用設備等視察）と防火懇談会

参加者 文化財施設関係者、宇治警察署、宇治市教育委員会、宇治市消防本部、宇治市消防団等

令和8年度 一般財団法人 宇治市文化財愛護協会

収支予算書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日)

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	370	350	20	
自主事業収益	370	350	20	
受取会費	180	180	0	
受取会費	180	180	0	
受取補助金等	50	50	0	
受取市受託金	50	50	0	
受取寄付金等	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	1	1	0	
受取利息	1	1	0	
経常収益計	601	581	20	
(2) 経常費用				
事業費	2,074	1,541	533	
旅費交通費	584	560	24	
通信運搬費	65	64	1	
什器備品費				
消耗品費	89	94	△5	
印刷製本費	327	437	△110	
賃借料(地代家賃)	96	96	0	
保険料	2	2	0	
公租公課	20	20	0	
諸謝金	396	144	252	
支払負担金	20	9	11	
支払助成金				
支払手数料	1	1	0	
使用料	64	64	0	
顕彰費	410	50	360	
棚卸高				
雑費				
管理費	150	150	0	
役員報酬	100	100	0	
会議費	20	20	0	
旅費交通費	5	5	0	
通信運搬費				
什器備品費				
消耗品費	10	10	0	
印刷製本費	10	10	0	
賃借料				
支払負担金				
委託費				
支払手数料	5	5	0	
経常費用計	2,224	1,691	533	
当期経常増減額	△1,623	△1,110	△513	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額	△1,623	△1,110	△513	
一般正味財産期首残高	4,130	4,630	△500	
一般正味財産期末残高	2,507	3,520	△1,013	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0	
III 正味財産期末残高	5,507	6,520	△1,013	